

北海道大学総合博物館主催

土曜市民セミナー 道民カレッジ連携講座

# ナスカの地上絵を 鳥類形態学と動物考古学から考える

江田 真毅 <北海道大学総合博物館 講師>

## 講演概要

ナスカの地上絵は、世界遺産にも登録されているペルー南部の砂漠台地に約2千年前に描かれた巨大な図像群です。鳥類を描いたとされる図像は動植物でもっとも多く19点。コンドルやハチドリなどと呼ばれていますが、その名は正しいのでしょうか？

鳥類形態学の視点から地上絵に描かれた鳥について再検討します。また近隣の遺跡から出土した鳥類の骨の動物考古学的分析の成果と合わせて、ナスカの地上絵の謎について考えます。



**8月8日(土) 13時30分より**

北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟 1F 6番教室

入場無料 / 座席数156 / 申込不要



<お問い合わせ>

TEL:011-706-2658

<http://www.museum.hokudai.ac.jp/>

